

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	29年 7月 15日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府枚方市伊賀緑町2番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 恩地食品株式会社 代表取締役社長 恩地 宏英

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	恩地環境推進会議(恩地独自システム)
適 用 範 囲	京都工場設備全般
導 入 年 月 日	23年 10月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	私たちは生産活動のすべてにおいて「地球に優しい工場」を基本理念として、社員一同地球温暖化問題を重要視し、改善を努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①CO2排出量 2010年度を基準に原単位（生産数量ベース）で2017年度に8%削減、総排出量は6%削減、廃棄物（植物性残渣量）3%削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容	照明、エアコンの使用基準、温度設定を明確化（操作付近に記載表示）することで、節電を社内で共有化を図る。上半期の空調使用方法を（冷蔵庫駆動時間を調整してみる）行った。
目標を達成するための取組の進捗状況	表示通りの使用方法は徹底された。冷蔵庫の駆動時間は温度の上昇の影響が大きく、商品に負荷がかかるので、困難であった。また、ロジ詰め省力化3基、空調等の設備追加が消費電力の負荷の要因に。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2010年から2017年に向けての削減目標は原単位については大きく削減、排出量は過去3年間は微量に増加したが（2010～2013は約4%減量する）生産数量が上がりながらも、効果は良好で評価できるものであった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について月一回は確認を行っている。これまで違反や行政当局からの指摘等はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年1回検討していきます。28年度はほぼ維持状態だったので、29年度以降も同一システムで推進しながら、重点目標を有効に利用していく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。